浜田市立弥栄中学校　第２学年　社会科学習指導案

日　時　　平成２８年１２月２日（金）５校時
場　所　　弥栄中学校　２年教室
指導者　　講師　上田　信明

１　単元名　　日本の諸地域　「九州地方　～自然環境の視点を中心にして～」

２　単元の目標

○ 九州地方の自然環境と生活，産業との関係について関心をもち，九州地方の地域的特色を意欲的に追究し，とらえようとする。【社会的事象への関心・意欲・態度】

○ 自然環境を中核として，そこに住む人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察し，自分の言葉で説明することができる。【社会的な思考・判断・表現】

○ 九州地方の地域的特色を読み取ることができる地図や統計資料を収集し，有効に活用できる。【資料活用の技能】

○ 九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や，人々の生活や産業と自然環境との関わりについて理解することができる。【社会的事象についての知識・理解】

３　基盤

本単元は，学習指導要領内容（２）ウ「日本の諸地域」を受け，九州地方の地域的特色をとらえさせる学習として設定したものである。九州地方の地域的特色をとらえさせるにあたっては，自然環境を中核とした考察を基に，学習課題を設定して地域的特色を追究するように単元構成する。

九州地方は，日本の南西部に位置し，気候は比較的温暖で南西諸島は亜熱帯に属する。九州山地を代表とする山がちな地形で，桜島や阿蘇山など現在でも活発な火山活動がみられる山もある。そのため，鹿児島県や宮崎県南部では，火山灰など火山の噴出物が厚く堆積したシラス台地が広がっている。また，台風の通り道になることが多く，集中豪雨による土砂崩れや洪水などの自然災害が多い地域でもある。

学習指導要領では，「日本の諸地域」の取り扱いについて，「地域の特色ある事象や事柄を中核として，それを他の事象と有機的に関連付けて，地域的特色を追究すること」とある。本単元では，「九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどう結びついているのか」という学習課題を設け，地域の地形や気候，自然災害などの自然環境を中核とし，それらを人々の生活や産業と関連付け，九州地方の地域的特色について考えさせていきたい。

この学年は，一年次にヨーロッパ州の学習において協調学習の手法で授業を行い，ヨーロッパ州の地域的特色を多面的・多角的に考察した。その成果もあり，話合い活動を行うと少しずつではあるが，学習課題の解決に向け他者の意見を参考に様々な視点から物事を考える力がついてきたように感じる。その積み重ねとして本単元でも同様に，次程の第３次で知識構成型ジグソー法を用いて授業展開を行い，生徒の主体的な活動をうながし，個々の思考力・資料活用の技能の育成を図りたい。本校の学校司書が用意した図書資料や新聞記事などの情報源から個々のテーマに合った情報を選択し，独自のエキスパート用資料を作成する。その資料の内容を他者に説明し，他者の意見をもとに九州地方の地域的特色を多面的・多角的に考察し，学習課題を解決する力を身につけさせたいと考えている。

４　本実践とキャリア教育

調べる学習では，図書資料や新聞記事などの情報源から，事前に割り振られた九州地方の生活・文化，自然環境，産業というテーマから自分に合った情報を取り，それを整理し，与えられた学習課題解決に向けてまとめていく。このような活動を通して，課題発見の仕方，情報を主体的に選択し活用する力を伸ばしたい。

【見通しをもって計画・実行する力（課題対応能力）】

５　単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての 知識・理解
自然環境を中核とした考察の仕方を基に，九州地方の地域的特色に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	自然環境を中核とした考察の仕方を基に，九州地方の地域的特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	九州地方の地域的特色を読み取ることができる地図や統計資料を収集し，適切に読み取っている。	自然環境を中核とした考察の仕方を基に，九州地方の地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。

６　単元の指導計画及び評価計画（全６時間）

次程	時間	ねらい・学習活動	評価の観点				評価方法等
			関	思	技	知	
第一次（見出す）	1	九州の自然環境のおおまかな様子を知る。 ○写真や地図，地球儀を活用し，九州地方の自然環境のおおまかな様子をとらえる。	○			○	・発言 ・ノート
第二次（追究する）	2 3 4	九州地方の生活・文化，自然環境，産業について調べる。 ○図書館で九州地方の生活・文化，自然環境，産業について調べ，考察する。 ○エキスパート活動に向けて自分の考えをまとめる。【司書教諭・学校司書】		○	○		・行動 ・ワークシートへの記入内容
第三次（表現する）	5（本時）	九州地方の地域的特色を追究する。（協調学習） ○九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのように結びついているのか考察し，発表する。		○			・発言 ・行動 ・ワークシートへの記入内容
	6	九州地方の地域的特色を整理する。 ○前時で出たグループの発表をもとに，九州地方の地域的特色をまとめ，整理する。				○	・発言 ・ノートへの記入内容

７　本時の学習

（１）本時のねらい

九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどう結びついているのか，他者の意見を参考にして，自分の言葉として説明することができる。　【社会的な思考・判断・表現】

（２）本時の展開

時間	学習活動	教師の支援	☆評価　〇教材
３分	前時までの学習を振り返る。 本時の目標の確認をする。		
２分	本時の活動の流れを確認する。	・エキスパート活動，ジグソー活動，クロストーク活動の流れを説明する。	
九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどう結びついているのか，具体的な例を挙げ，説明してみよう。			
５分 ２０分 １５分	〈エキスパート活動〉（５人×３ｸﾞﾙｰﾌﾟ） ・生活・文化 ・自然環境 ・産業 〈ジグソー活動〉（３人×５ｸﾞﾙｰﾌﾟ） エキスパート班で考察した内容をジグソー班で説明し，学習課題の解決にあたる。 〈クロストーク活動〉 各グループの意見を交換し，意見を学級で共有する。	・生徒たちの活動がメインになるように言葉がけを少なくする。 ・生徒の困り感が強いようであれば，指導者がつくった資料を配布する。 ・グループでまとめた内容はホワイトボードに記入させ，全体に見えるように掲示する。	〇エキスパート用ワークシート 〇ジグソー用ワークシート ☆他者の意見を参考にして，自分の意見を構築している。（観察） 〇ホワイトボード
５分	〈振り返り〉 クロストーク活動をもとに，ワークシートを完成させる。	・授業前後での自分の学習課題の答えを比較させ，学習の成果を確認する。	☆ワークシートの記入内容

（３）本時の評価

評価の観点	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
社会的な思考・判断・表現	九州地方の地域的特色を他者の意見をもとに分析し，世界と比べた日本の地域的特色の学習内容と関連づけて，自分の言葉として説明している。	九州地方の地域的特色を他者の意見をもとに分析し，自分の言葉として説明している。	グループ内での考えがまとめられるようなワークシートの使用や助言を行い，九州地方の地域的特色に気付くことができるようにする。

（４）授業研究の視点

・エキスパート活動に使う資料を生徒に作成させたことは，ジグソー班での話合いを深めることにつながったか。

・協調学習の手法を取り入れたことは，九州地方の地域的特色について多面的・多角的に考察する手立てとして有効であったか。